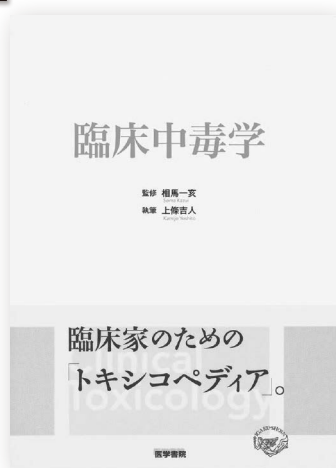




臨床中毒学

相馬一亥＝監修

上條吉人＝執筆

本体 10,000 円＋税／B5 判・576 頁／医学書院／2009

かつて化学を修め、現在臨床の第一線で中毒患者の診療にあたる筆者が、「臨床現場で役立つ中毒学の成書」をコンセプトに、これまでの自身の経験・知見と最新のエビデンスを惜しみなく注ぎ込んだ決定的な 1 冊。総論「急性中毒の 5 大原則」、各論「中毒物質」(101 項目)の他、巻末には症候別索引(症候→中毒物質)も掲載。急性中毒患者に関わるすべての臨床家のための「トキシコペディア」！